

こう う さいがい
6.29豪雨災害

へいせい ねん がつ にち ばい う ぜんせん えいきょう み めい ふ はじ あめ こ こ きゅう つよ
平成11年6月29日、梅雨前線の影 響 により未明から降り始めた雨が、午後になってから 急 に強くなり、
ひろしまけん ぜんいき おおあめ
広島県全域に大雨をもたらしました。

とく ひろしま し さ えきく あ さきたく がつ にち あめ ゆる じばん じ じ
特に広島市佐伯区と安佐北区では、6月23日からの雨で緩んでいた地盤に、13時から 16時にかけて
1 じかん 40～80 ミリメートルの強い雨が降り、河川の氾濫、土石 流、がけ崩れなどが多数起こりました。

おおあめ ひろしま し めい かた な めい
この大雨で、広島市では 20名の方が亡くなり、45名がけがをしました。

